

## 2022年度 家事支援サービス補助事業を利用された病院職員の皆様へ

### 「病院職員に対する家事支援サービス補助事業の効果」について

#### はじめに

鳥取大学医学部附属病院ワークライフバランス支援センターでは、2022年度試行的に実施された「家事支援サービス補助事業」を利用された病院職員を対象に、利用前・利用中・利用後にアンケートを実施しました。その結果をもとに以下の研究を実施しています

この研究は鳥取大学医学部倫理審査委員会の承認を経て、医学部長の承認を受けています。詳細は以下のとおりです。

#### 1. 研究概要および利用目的・方法

本研究では、2022年6月～2023年3月まで家事支援サービス補助を受けた鳥取大学医学部附属病院に勤める職員のアンケート回答から、情報を集めさせていただき、「家事のアウトソーシング」がワークライフバランスにどのように影響するか検証するため、家事支援サービスを利用することによる仕事や家庭への影響や気分の変化について調査しました。

すべての情報は、ワークライフバランス支援センターで集計されます。また、情報は研究責任者が責任を持って保管、管理します。

本研究に参加される利用者は、他の研究参加者への個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書及び研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される方は、遠慮なく問合せ窓口にお申し出ください。

#### 2. 取り扱う情報

利用者のアンケート回答から以下の項目を集めさせていただきます。

##### 【対象者の背景情報】

性別，年代，職種，雇用形態，過去の家事支援サービスの利用経験，同居者の有無

##### 【ワークライフバランスの評価】

時間による仕事から家庭への負の影響・・・3項目，多次的ワークファミリーコンフリクト尺度 1)

時間による家庭から仕事への負の影響・・・3項目，多次的ワークファミリーコンフリクト尺度 1)

ストレス反応による仕事から家庭への負の影響・・・3項目，多次的ワークファミリー

コンフリクト尺度 1)

ストレス反応による家庭から仕事への負の影響・・・3項目、多次的ワークファミリー  
コンフリクト尺度 1)

家庭から仕事の流出効果（ポジティブ）・・・5項目、日本版ワークライフバランス尺度 2)  
※5件法に変更して使用

【家事支援サービス利用時の気分】

ポジティブ感情・・・8項目（日本語版 PANAS） 3)

ネガティブ感情・・・8項目（日本語版 PANAS） 3)

【利用したサービスの評価】

家事の負担感が軽減した・・・1項目（独自作成項目）

家族（子供、パートナー等）との触れ合う時間が増えた・・・1項目（独自作成項目）

仕事をする時間が増えた・・・1項目（独自作成項目）

趣味や気分転換などの自分の時間が増えた・・・1項目（独自作成項目）

家事支援サービスを利用した感想（自由記述）

### 3. 研究期間

この研究は、鳥取大学医学部長が研究の実施を許可した日から 2024年3月31日まで  
行う予定です。

### 4. 個人情報保護の方法

利用者の情報は、研究責任者が責任をもって保管、管理します。また、氏名、イニシャル、  
住所、電話番号、カルテ番号などの直ちに個人を識別できる個人情報は匿名化\*され、本研  
究では匿名化された情報を使用します。このようにして利用者の個人情報の管理については  
十分に注意を払います。

\*匿名化について：本研究にご提供いただく情報については、利用者の氏名・性別・職種な  
ど、利用者個人を直ちに特定できるような情報をすべて削除し、代わりにこの研究用の登  
録番号をつけます。なお、研究の過程で情報がどの利用者のものかを知る必要がある場合  
も想定されます。その場合に備えて、情報と利用者個人を結びつけることのできる対応表  
を作成させていただきますが、この対応表は研究責任者によって鍵のかかる保管庫で厳重  
に管理されます。

### 5. 研究への情報提供による利益・不利益

利 益・・・今回の研究に情報をご提供いただいた利用者個人には、特に利益と考えら  
れるようなことはございませんが、研究の成果は、将来の家事支援サービス補  
助事業の制度化に向けた貴重な資料となる可能性があります。なお、情報を使  
用させていただいた利用者への謝礼等もありません。

不利益・アンケートからの情報収集のみであるため、特にありません。

## 6. この研究終了後の情報の取り扱いについて

今回、集めさせていただき利用者の回答が当院ワークライフバランス支援センターの他の事業に関する新たな重要な情報をもたらす可能性があります。このため、利用者の回答は、この研究終了後も保存させていただき、他の研究に使用させていただくことがあります。その場合は、新たに研究計画を立てて研究に参加する医療機関の倫理審査委員会での審査を経て、他の研究に使用させていただきます。

本アンケートの回答は、当該研究の終了について報告された日から5年を経過した日又は当該研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日までの期間保存します。保存期間終了後は、利用者個人を特定できない状態にして適切に廃棄します。

## 7. 研究への情報使用の取り止めについて

利用者個人の回答を研究に用いたくない場合には、いつでも取り止めることができます。何ら不利益を受けることはありませんので、下記【問い合わせ窓口】までお申し出ください。取り止めの希望を受けた場合、利用者の情報を使用することはありません。この場合には、個人を特定できない状態にして、速やかに廃棄させていただきます。

しかし、取り止めに希望した時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

## 8. 当該臨床研究に係る資金源について

本研究は、鳥取大学医学部附属病院ワークライフバランス支援センター事業費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

## 9. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、利用者の個人が特定される情報は全て削除して公表します。情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に利用者の個人情報明らかになることはありません。

## 10. 知的財産権の帰属について

本研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は鳥取大学に帰属し、あなたには帰属しません。

## 11. 問い合わせ窓口

本研究についてのご質問だけでなく、利用者の回答が研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、利用者の回答の使用を望まれない場合など、この研究に関すること

は、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

【研究責任者】

山田七子

鳥取大学医学部皮膚病態学分野 ワークライフバランス支援センター

鳥取県米子市西町 36-1

TEL：0859-38-6868

E-Mail：nayamada@tottori-u.ac.jp

【研究事務局】

大羽沢子

鳥取大学医学部附属病院 ワークライフバランス支援センター

鳥取県米子市西町 36-1

TEL：0859-38-6868

E-Mail：sawako-505@tottori-u.ac.jp

\*この研究に関する情報は、鳥取大学医学部附属病院のホームページに掲載しております。

(URL：<http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/introduction/3107/>)